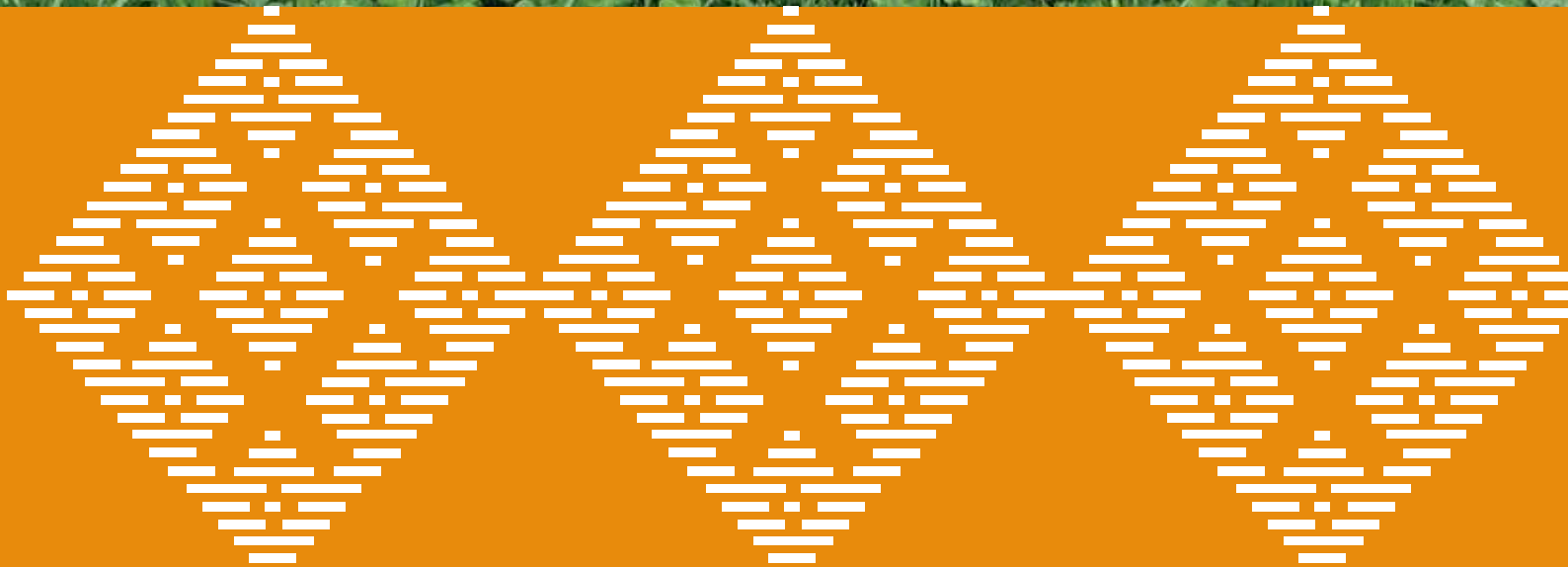


A photograph of a dogwood tree in full bloom with numerous bright pink flowers. The background shows a building and greenery.

求人のための 弘前大学案内

2023（令和5）年3月卒業・修了予定者対象



ごあいさつ

企業、団体等の人事担当の方々には、日頃から弘前大学生が大変お世話になっておりますことに、改めてお礼を申し上げます。特に、インターシップの受け入れ、充実に多大なご支援をいただいておりますことに、心から感謝いたしております。大変ありがとうございます。

お陰様で、弘前大学卒業生の就職状況は良好に推移しており、コロナ禍の逆風の中でも、令和2年度の就職率は過去6番目に高い就職率(97.9%)を達成することができました。残念ながら県内就職率の向上という点ではいまだ十分とは言えませんが、県内外へ就職した卒業生の企業等からの評価は高く、弘前大学におけるキャリア教育の成果である大変喜ばしく思っております。もちろん、企業等の皆さんが求める「社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)」は、学内の「学び」だけで獲得できるものではなく、地域社会との交流を通して育まれるものです。多様な「学び」の環境を提供くださっている地域の方々に対しても感謝の意を表したいと思っております。

法人化以降、地方大学の使命として地域活性化への貢献があげられています。弘前大学もCOC(Center of Community)事業とそれに続くCOC+事業を通して、自治体や県内の高等教育機関、各種企業等の皆様方から多大なるご支援、ご協力をいただき、地域活性化施策および若者の県内定着に向けた取り組みを行ってきました。昨年9月、事後評価において最高位の「S」評価を獲得したCOC+事業の取り組みを今後も継続するために、「青森創生人材育成・定着推進協議会」を新たに設立しました。学生のキャリア教育を充実させ、地域課題に積極的に取り組み、グローバルな視点を持ちつつ地域を牽引できる人材の育成と学生の地域定着を向上させる取り組みを継続してまいります。

地域の自治体や各種企業等の皆様のご協力のもと、弘前大学生の希望や夢を叶えつつ、地域活性化を実現したいと考えています。今後とも、弘前大学と弘前大学生をよろしくお願い申し上げます。



弘前大学長
福田 眞作

弘前大学のキャリア教育

弘前大学は、キャリア教育を「社会全体の中での人生の在り方を見つけ、実現するための『生き方教育』」と位置付け、平成28年度から教養教育におけるキャリア教育科目を必修化しました。1年次から高年次にかけて、学生の就業力育成に努めています。

教養教育科目			正課外
1年次	2年次	3年次	1年次～
キャリア形成の基礎 (必修科目)	キャリア形成の発展 (選択必修科目) インターンシップ (選択科目)	キャリア形成の発展 (必修科目)	• 各種ガイダンス • 企業見学会 • 業界研究会



企業等見学会

キャリア教育の一環として、職業観の育成や就業機会を考えさせ、同時に企業への理解を深めるため、社会見学や諸先輩と話をする機会となる「企業等見学会」を実施しています。

様々な業界の職場を見学することで、将来、就職活動をスタートしていくにあたり、青森県内就職・県外就職の希望にかかわらず、広く社会を見る目を養う、キャリア形成を目指します。ご協力いただける企業様からのご連絡は随時受付しております。

■参加学生の声

- 見学前は就職するまでの過程や大学で学んだことをどう活かせるか、就職してからどのような感じなのか、全く分からず自分がどう働けるのかが気になっていた。しかし2つの企業を見学して、お話を聞くことで卒業後の具体的な様子を知ることができたのでよかった。働いている人を実際に見て楽しそうに見えたので、私も働いて楽しい会社に就職したいと思った。
- 会社独特の雰囲気や規模、理念を味わうことができ、自分にはどういう環境が合っているのかを考えることができた。事業内容よりも会社内の人間関係ややりがいを充実させることに焦点を絞っていけば長く続けられるだろうと感じた。色々な会社を見学してみたいと思えるようになった。
- 今回見学した企業はいずれも身近なもので、さらに東北で1番であったり、世界でもシェアされているなど、実績ある素晴らしい企業でした。また先輩からの話を聞け、有意義な時間を過ごすことができました。インターンシップをする際や、就活の時に活かしていきたいです。
- 今回の企業見学を通して、それぞれの企業がどの業界でどのような特徴があるのかを知ることができ、自分の将来を考えるきっかけになった。また各企業が力を入れて取り組んでいることや、何を大事にしているかなどを聞くこともでき、自分が就職するときにはこのようなことに着目して企業を選ぼうと思った。まだ就職なんて先の話だと思っていたが、今回の企業見学に行ったことで、今のうちから真剣に考えなくてはいけないと思うようになった。参加してよかった。
- 2回ツアーに参加してみて、自分が努力すれば大学で学んで来なかった分野でも、活躍の場があると知った。OB、OGの方たちを見て、自分の将来を考える良いきっかけになった。
- 自分は教員志望だが、教員以外の仕事についても学ぶことで、より社会を広く見渡すことができ良い経験になると考えている。来年も4年生にはなるが機会があれば参加し、青森の企業や文化、風土をどんどん体験していきたい。
- 見学を通じて、青森にもこんなすばらしいIT企業があることに驚いた。ITなど東京のイメージが高いが、場所は限らずずっと青森でやっていくというのがとても良かった。



人文社会科学部

時代の変化に対応できる専門知識・技能と課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は、北東北地域における人文社会科学分野の主要な高等教育研究拠点のひとつです。少子高齢化の急速な進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と行動原理に裏づけられた、人文社会科学分野の専門知識・技能と現実の課題解決能力をそなえた人材育成を目指します。



- 文化創生課程
文化資源学コース／多文化共生コース
- 社会経営課程
経済法律コース／企業戦略コース／地域行動コース

大学院 人文社会科学研究科

【修士課程】 グローバル化と共生の時代に人文社会科学の深奥を究める

人文社会科学研究科は、人文社会科学専攻のもとに、文化芸術コース・現代共生コース・政策科学コースという3つのコースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分野に関係した高度で特色ある教育・研究を通して、グローバル化と共生の時代に相応しい資質・能力を身につけた人文社会科学系の高度専門職業人として、我が国の文化の振興や経済・産業の活性化の面から人間社会の発展に寄与する人材の養成を目的としています。

- 人文社会科学専攻
文化芸術コース／現代共生コース／政策科学コース

教育学部

教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。



- 学校教育教員養成課程
初等中等教育専攻／特別支援教育専攻
- 養護教諭養成課程

大学院 教育学研究科

【専門職学位課程】 理論と実践の往還・融合

教育学研究科は、教職実践専攻をもつ専門職大学院です。教育実践力に秀でた新人教員の育成とミドルリーダーの養成を目的に、現職教員学生を対象とした「ミドルリーダー養成コース」と学部新卒学生を対象とした「学校教育実践コース」、「教科領域実践コース」、「特別支援教育実践コース」の4コースを設置しています。青森県が直面している教育課題に対して、理論と実践の往還・融合を通じて、その解決に向けた教育実践を創造しリードする教員を養成します。

- 教職実践専攻（専門職学位課程）
ミドルリーダー養成コース／学校教育実践コース／教科領域実践コース／特別支援教育実践コース

医学部医学科・大学院 医学研究科 医学部保健学科

高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は5専攻を有し、多様な保健医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、保健医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。



●看護学専攻 ●放射線技術科学専攻 ●検査技術科学専攻 ●理学療法学専攻 ●作業療法学専攻

医学部心理支援科学科

心理学を中心とする高度な専門知識・技能、豊かな人間性・倫理性を兼ね備えた心理支援職の養成

医学部心理支援科学科は、医学部の3番目の学科となる、公認心理師養成を想定した学士課程として、令和2年4月に開設されました。校舎は本町キャンパスにあり、現在は1・2年生で21名が在籍しています。本学科では、心理学・臨床心理学だけでなく、医学・保健学など専門領域に関する知識と技能の修得と科学的思考力、こころの問題に対する感受性、悩める人に寄り添う姿勢、生命に対する高い倫理性の涵養を図ります。そして、心理支援職としての役割を通して、地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する人材を育成していきます。

大学院 保健学研究科

【博士前期課程】 問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを発揮し、指導的役割を果たすことのできる“コ・メディカルスタッフ”の育成を目標としています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

●保健学専攻 看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

【博士後期課程】 独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質(QOL)向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身に付けた教育・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

●保健学専攻 看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

理工学部

科学力を養い、人間力を磨く

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探求する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。



- 数物科学科
- 物質創成化学科
- 地球環境防災学科
- 電子情報工学科
- 機械科学科
- 自然エネルギー学科

大学院 理工学研究科

【博士前期課程】 理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる高度専門職業人の育成を目指しています。4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、基礎学問を探究する理学及び産業に直結する工学といった従来の既成概念にとらわれない、基礎と応用及びその境界領域を含む、学際性を重視した理工融合を特徴とする高度専門教育を行っています。

- 理工学専攻
数物科学コース／物質創成化学コース／地球環境防災学コース／電子情報工学コース／機械科学コース／自然エネルギーコース

【博士後期課程】 未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、理学や工学の既成概念にとらわれず、科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を持ち、学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を有する高度専門職業人および研究者の養成に重点を置いた教育を行っています。

- 機能創成科学専攻
- 安全システム工学専攻

農学生命科学部

生物学，農学，經濟並びに工学における実験と実習を重点的に行います

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけた人材，課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身につけ，創造性と主体性を持って地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。



●生物学科 ●分子生命科学科 ●食料資源学科 ●国際園芸農学科 ●地域環境工学科

大学院 農学生命科学研究科

【修士課程】 農学生命科学分野において高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には，生物学，分子生命科学，食料資源学，国際園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき，2つの教育プログラム，すなわち学術研究プログラム（研究者養成）または実践研究プログラム（専門技術者養成）からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し，熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者，国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

●農学生命科学専攻

生物学コース／分子生命科学コース／食料資源学コース／国際園芸農学コース／地域環境工学コース

大学院 地域共創科学研究科

【修士課程】 “地域社会の未来を切り拓くフロントランナー”を育成

地域共創科学研究科は、2020年に設立された総合的な大学院です。社会学・工学を中心とした地域リノベーション専攻と、経営学・農学を中心とした産業創成科学専攻の2専攻で構成され、弘前大学の人文社会科学部、教育学部、理工学研究科、農学生命科学部、地域社会研究科、地域戦略研究所の教員が教育・研究に参加しています。文系・理系の院生が共に新たな価値をつくりだす文理共創と、地域と大学が協働して新たな価値を生み出す域学共創を通して、地域課題解決に資する高度な専門性と俯瞰性を兼ね備えた「地域社会の未来を切り拓くフロントランナー」の育成を目指します。

- 地域リノベーション専攻
コミュニティデザイン領域／レジリエンステクノロジー領域
- 産業創成科学専攻
食産業イノベーション領域／グローバルビジネス領域

大学院 地域社会研究科

【博士後期課程】 高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力ある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的として2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

- 地域社会専攻

キャリアセンターについて



キャリアセンターは、弘前大学教育推進機構の下に、キャリア教育やキャリア支援を通じて学生の就業力育成を推進する機関として平成28年4月に設置され、求人票の受付や説明会の開催等を通じて、企業・団体様との連携を図っております。



弘前大学の就職情報はキャリアセンターのホームページから

キャリアセンターのホームページでは企業様向けのご案内を各種ご用意しております。

- 求人票
- インターンシップ
- 学内説明会
- 就職に関するデータ などなど。

ぜひ、ご利用いただきますようお願いいたします。

弘大キャリアセンター

検索



● 「求人票」・「インターンシップ情報」送付のお願い

本学では、求人検索システム「キャリアタス UC (旧 UniCareer)」による求人・インターンシップの情報公開を行っておりますので、何卒、ご協力をお願いいたします。

なお、紙媒体で送付された求人票等については、キャリアセンター施設内において紙媒体での閲覧のみとなりますので、ご了承願います。

「キャリアタス UC」は利用料不要です。

一度、企業情報や求人票、インターンシップ情報を登録することで、次年度以降の更新も簡単に行えます。また、複数大学への情報提供も一括で行うことができます。

キャリアセンターHPリンク先からも、ご登録いただけます。

キャリアタスUC
[career+]

キャリアタス UCのご利用やサービスに関するお問い合わせ

キャリアタス UC カスタマーサポート

T E L : 0120-551-652 (フリーダイヤル) /
03-6635-6488

(受付時間：平日9:00 ~ 17:30)

E-mail : uc-corp@disc.co.jp

●「個別企業説明会」等のお申し込みについて

学内での「個別企業説明会」等の申込を随時受け付けております。

キャリアセンターのセミナー室を主な会場として開催しており、会場費等は不要です。



「個別企業説明会」／対象：卒業・修了予定者

「官公庁業務説明会」／対象：全学年又は卒業・修了予定者

「業界研究会」／対象：全学年対象（学生の個人情報取得及び採用に関する広報は不可）

※申込方法:まずは、お電話で日程の調整をお願いします。開催希望の4週間前までにお申し込みください。

●「弘前大学合同企業説明会」について

本学卒業・修了予定学生を対象とした「弘前大学合同企業説明会」を開催しております。実施方法等の詳細については、キャリアセンターホームページでご確認ください。

—令和3年度開催予定—

(令和5年3月卒業・修了予定者対象)

開催日：令和4年3月1日(火)～3月3日(木) 3部/日制で全7部

会場：弘前大学(文京町キャンパス) 大学会館1F ※状況によりWeb形式となる場合があります。

参加費：25,000円

参加方法：9月頃、ホームページにて申込方法等をお知らせします。お申込多数の場合は参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。



【合同企業説明会のオリエンテーション】



【令和2年度実績(Web開催)】 企業220社、学生679名参加
(写真は平成30年度に対面式での開催の様子)

●各学部就職担当教員について

各学部に就職担当教員がおります。訪問をご希望される場合は、事前に電話またはメール等で各教員へ直接ご連絡いただきますようお願いいたします。

各学部の就職担当教員は、キャリアセンターホームページでご確認ください。

進路状況データ

1. 卒業・修了後の進路状況

【学部】

令和2年度 (R3.3卒業)

産業分類	人文社会科学部	教育学部	医学部保健学科	理工学部	農学生命科学部	計	
	卒業者数	262	180	204	341		212
就職者数	農・林・漁・鉱				4	4	
	建設	7	1		11	2	21
	製造	11	1	3	34	22	71
	情報通信	38	7		41	9	95
	運輸・郵便	2	1		4	2	9
	卸売・小売	25	10		11	23	69
	金融・保険	26	4		4	3	37
	宿泊・飲食	2	1	1	3	5	12
	医療・福祉	6	2	174	3	6	191
	教員(学校教育)	2	81		2	1	86
公務	64	14		35	33	146	
その他の産業	35	12	1	33	27	108	
計	218	134	179	181	137	849	
進学者数	10	12	17	140	61	240	
上記以外	34	34	8	20	14	110	

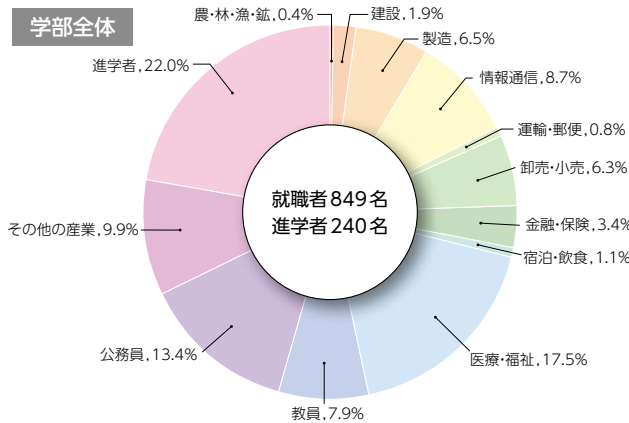
※人文社会科学部には人文学部を含む

【大学院】

令和2年度 (R3.3修了)

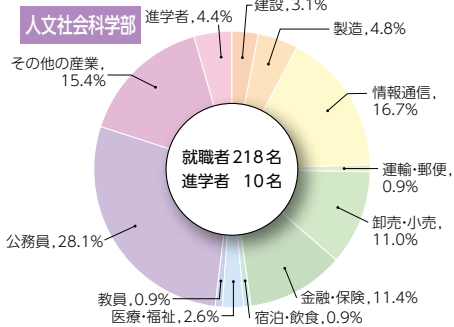
産業分類	修士課程					博士課程				計
	人文社会科学研究科	教育学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	地域社会研究科	
修了者数	12	31	31	101	55	63	8	11	3	315
就職者数	農・林・漁・鉱				1					1
	建設				2					2
	製造			3	51	13	1		1	69
	情報通信	3	2		17	5				27
	運輸・郵便									
	卸売・小売	1				1				2
	金融・保険					1				1
	宿泊・飲食									
	医療・福祉			19			45	3		67
	教員(学校教育)		23	1	1	3	10	4	2	45
公務	2	1		2	5				11	
その他の産業		2	1	16	8	4	1	2	35	
計	6	28	24	89	37	60	8	5	3	260
進学者数	1	1	6	4	6					18
上記以外	5	2	1	8	12	3		6		37

学部全体

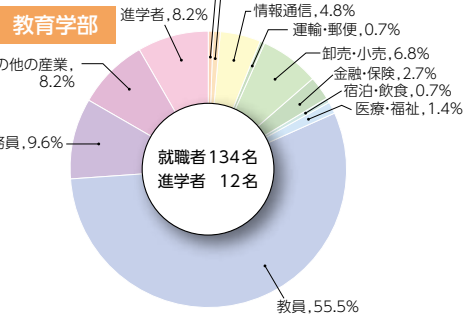


令和2年度卒業者の就職率は、97.9%で歴代6位の就職率となりました。

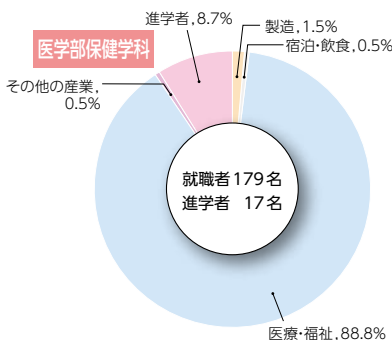
人文社会科学部



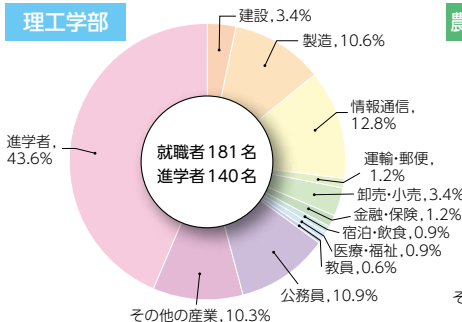
教育学部



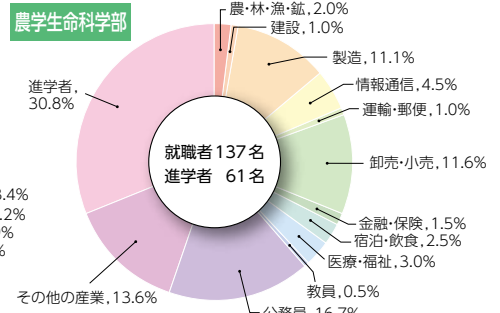
医学部保健学科



理工学部



農学生命科学部



※四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合があります。

2. 職種別就職状況

令和2年度 (R3.3卒業)

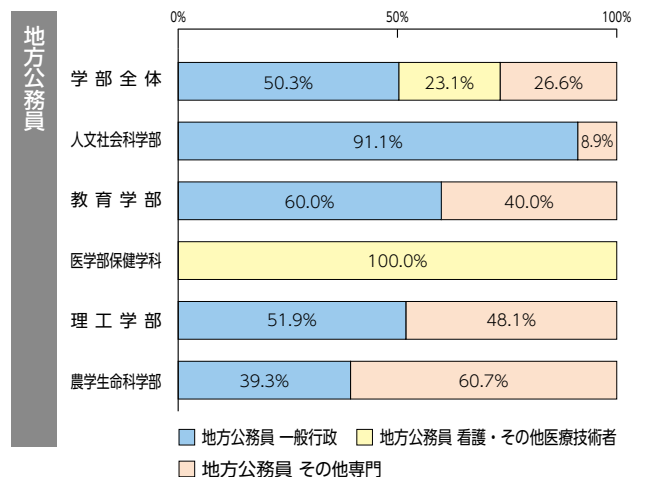
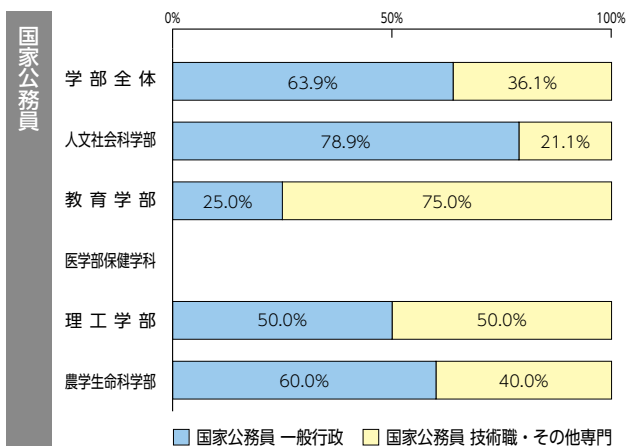
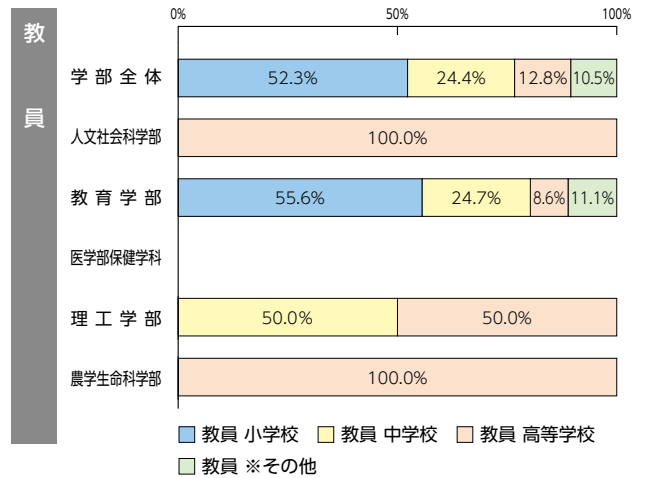
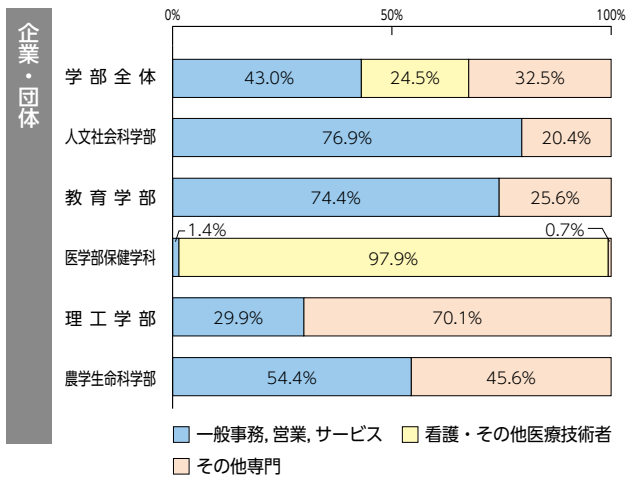
学部	職種	人文社会科学部	教育学部	医学部保健学科	理工学部	農学生命科学部	計
企業・団体 (584)	一般事務、営業、サービス	121	29	2	43	56	251
	看護・その他医療技術者			143			143
	その他専門	31	10	1	101	47	190
教員 (86)	小学校		45				45
	中学校		20		1		21
	高等学校	2	7		1	1	11
	※その他		9				9
	計		81		2	2	87
国家公務員 (36)	一般行政	15	1		4	3	23
	技術職・その他専門	4	3		4	2	13
地方公務員 (143)	一般行政	41	6		14	11	72
	看護・その他医療技術者			33			33
	その他専門	4	4		13	17	38
計		218	134	179	181	137	849

令和2年度 (R3.3修了)

大学院	職種	修士課程					博士課程			計	
		人文社会科学研究科	教育学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科		地域社会研究科
企業・団体 (196)	一般事務、営業、サービス	2	1	3	5	5				1	17
	看護・その他医療技術者			15			46	3			64
	その他専門	2	3		81	24	1	1	3		115
教員 (49)	小学校		9								9
	中学校		7		1						8
	高等学校		5			2					7
	※その他		2	2		1	13	4	2	1	25
	計		14	2	1	2	13	4	2	1	37
国家公務員 (0)	一般行政										
	技術職・その他専門										
地方公務員 (15)	一般行政		1								2
	看護・その他医療技術者			4							4
	その他専門	2			2	5					9
計		6	28	24	89	37	60	8	5	3	260

※人文社会科学部には人文学部を含む

※中等教育学校、高等専門学校、大学、特別支援学校及び幼稚園の教員数



3. 出身地別・地域別就職者数

◆ 出身地別就職者数

令和2年度 (R3.3卒業)

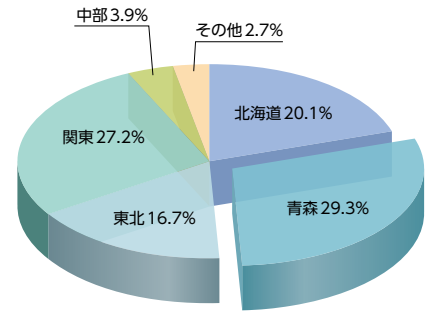
学 部	北 海 道	東 北						関 東					中 部	そ の 他	合 計
		青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	東 京	埼 玉	千 葉	神 奈 川	群 馬 茨 城 栃 木			
人文社会科学部	73	104	10	7	11	1	2		1	3		1	4	1	218
教 育 学 部	21	60	11	7	11	4	1		1	5	1	5	6	1	134
医学部保健学科	44	64	22	7	13	6	3	2	2	1		3	9	3	179
理 工 学 部	71	74	15	6	4	1	1			1	1	1	4	2	181
農学生命科学部	34	51	9	4	1	2	3	1	3	3	1	11	6	8	137
合 計	243	353	67	31	40	14	10	3	7	13	3	21	29	15	849
	28.6%	41.6%	7.9%	3.7%	4.7%	1.6%	1.2%	5.5%					3.4%	1.8%	

◆ 地域別就職状況

【学部】 令和2年度 (R3.3卒業)

就職地域	出身地域内訳		
北海道 171人 (20.1%)	北海道	147	86.0%
	青森県	11	6.4%
	岩手県	1	0.6%
	宮城県	3	1.8%
	秋田県	3	1.8%
	福島県	1	0.6%
	関東	3	1.8%
	中部	1	0.6%
九州	1	0.6%	
青森県 249人 (29.3%)	北海道	11	4.4%
	青森県	215	86.3%
	岩手県	6	2.4%
	宮城県	3	1.2%
	秋田県	5	2.0%
	山形県	2	0.8%
	福島県	1	0.4%
	関東	2	0.8%
	中部	2	0.8%
	近畿	1	0.4%
海外	1	0.4%	
岩手県 45人 (5.3%)	北海道	4	8.9%
	青森県	6	13.3%
	岩手県	28	62.2%
	宮城県	1	2.2%
	秋田県	3	6.7%
	関東	1	2.2%
	中部	1	2.2%
	海外	1	2.2%
宮城県 62人 (7.3%)	北海道	5	8.1%
	青森県	25	40.3%
	岩手県	10	16.1%
	宮城県	12	19.4%
	秋田県	4	6.5%
	山形県	1	1.6%
	福島県	4	6.5%
	中部	1	1.6%
秋田県 25人 (2.9%)	北海道	1	4.0%
	青森県	7	28.0%
	岩手県	1	4.0%
	秋田県	14	56.0%
	関東	1	4.0%
山形県 8人 (0.9%)	青森県	2	25.0%
	秋田県	1	12.5%
	山形県	5	62.5%
福島県 2人 (0.2%)	北海道	1	50.0%
	福島県	1	50.0%

就職地域	出身地域内訳		
東京都 139人 (16.4%)	北海道	44	31.7%
	青森県	54	38.8%
	岩手県	9	6.5%
	宮城県	4	2.9%
	秋田県	6	4.3%
	山形県	3	2.2%
	福島県	2	1.4%
	関東	10	7.2%
	中部	5	3.6%
	九州	1	0.7%
	海外	1	0.7%
	埼玉県 25人 (2.9%)	北海道	7
青森県		5	20.0%
岩手県		5	20.0%
秋田県		1	4.0%
山形県		1	4.0%
関東		5	20.0%
中部		1	4.0%
千葉県 15人 (1.8%)	北海道	3	20.0%
	青森県	4	26.7%
	岩手県	1	6.7%
	宮城県	1	6.7%
	関東	5	33.3%
	中部	1	6.7%
	海外	1	6.7%
神奈川県 28人 (3.3%)	北海道	7	25.0%
	青森県	9	32.1%
	岩手県	2	7.1%
	宮城県	2	7.1%
	秋田県	1	3.6%
	山形県	1	3.6%
	福島県	1	3.6%
	関東	4	14.3%
中部	1	3.6%	
茨城県 9人 (1.1%)	北海道	2	22.2%
	青森県	2	22.2%
	秋田県	1	11.1%
	関東	4	44.4%
栃木県 10人 (1.2%)	北海道	1	10.0%
	青森県	1	10.0%
	秋田県	1	10.0%
	関東	7	70.0%
群馬県 5人 (0.6%)	北海道	1	20.0%
	青森県	1	20.0%
	関東	2	40.0%
	中部	1	20.0%



就職地域	出身地域内訳		
中部 33人 (3.9%)	北海道	3	9.1%
	青森県	8	24.2%
	岩手県	3	9.1%
	宮城県	2	6.1%
	山形県	1	3.0%
	関東	2	6.1%
	中部	13	39.4%
	九州	1	3.0%
近畿 16人 (1.9%)	北海道	5	31.3%
	青森県	3	18.8%
	宮城県	2	12.5%
	関東	1	6.3%
	中部	1	6.3%
	近畿	4	25.0%
中国 3人 (0.4%)	北海道	1	33.3%
	宮城県	1	33.3%
	中国	1	33.3%
四国 1人 (0.1%)	四国	1	100.0%
九州 2人 (0.2%)	青森県	1	50.0%
	九州	1	50.0%
海外 1人 (0.1%)	海外	1	100.0%

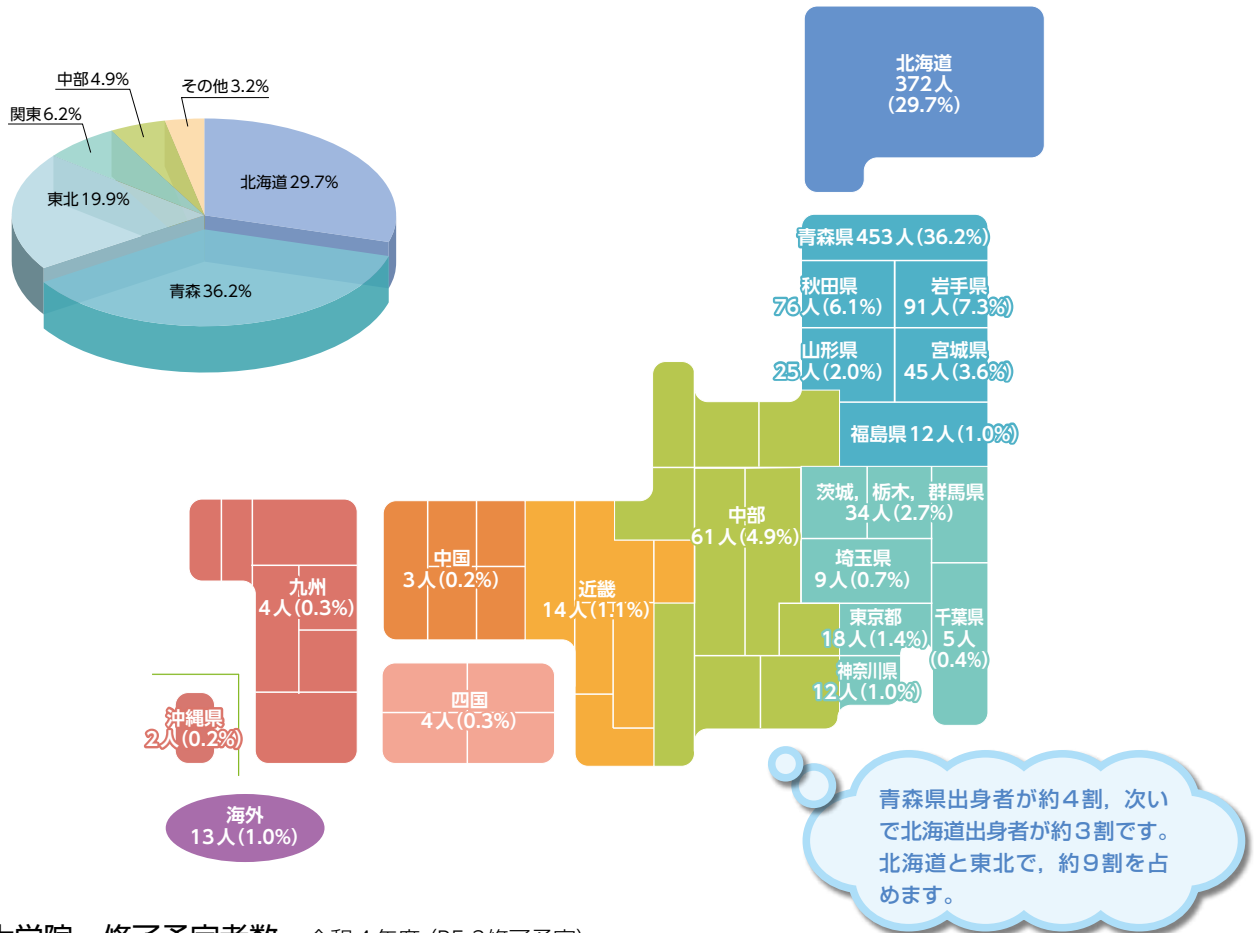
※四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合があります。

卒業・修了 予定者数

◆学部 卒業予定者数

令和4年度 (R5.3卒業予定)

学 部	北 海 道	東 北						関 東					中 部	そ の 他	合 計
		青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	東 京	埼 玉	千 葉	神 奈 川	群 馬 県 茨 城 栃 木			
人文社会科学部	94	116	19	7	18	4	2	2	2		1	7	7	6	285
教育学部	19	79	16	8	15	7	2	2	2	4		9	14	1	178
医学部保健学科	61	72	29	9	15	5	1	3	1			3	5	4	208
理工学部	138	118	16	13	20	2	3	3	4		6	6	14	16	359
農学生命科学部	60	68	11	8	8	7	4	8		1	5	9	21	13	223
合 計	372	453	91	45	76	25	12	18	9	5	12	34	61	40	1,253
	29.7%	36.2%	7.3%	3.6%	6.1%	2.0%	1.0%	1.4%	0.7%	0.4%	1.0%	2.7%	4.9%	3.2%	
		702						78							
		56.0%						6.2%							



◆大学院 修了予定者数 令和4年度 (R5.3修了予定)

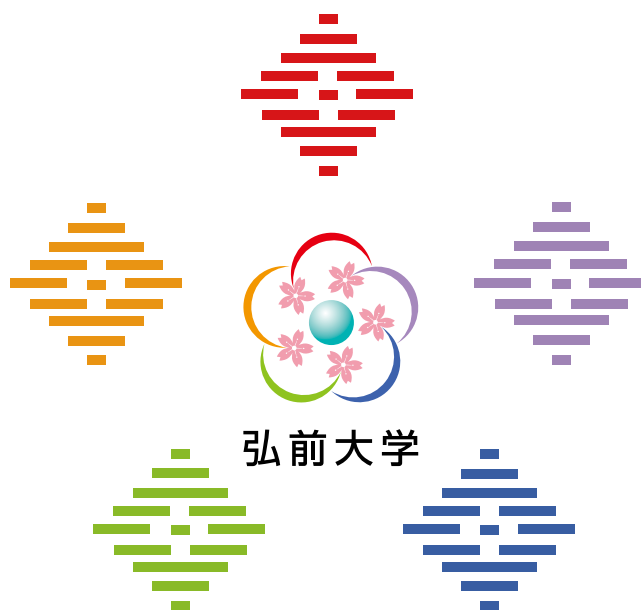
修士課程 / 博士前期課程

人文社会科学研究科	16
教育学研究科	20
保健学研究科	32
理工学研究科	122
農学生命科学研究科	45
地域共創科学研究科	26
計	261

博士課程 / 博士後期課程

医学研究科	52
保健学研究科	13
理工学研究科	3
地域社会研究科	6
計	74
大学院合計	335

※四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合があります。



弘前大学

お問い合わせ先

弘前大学教育推進機構キャリアセンター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1
TEL 0172-39-3129
FAX 0172-39-3131
E-mail scc@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学保健学研究科学務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
TEL 0172-39-5471
FAX 0172-39-5912
E-mail s-asari@hirosaki-u.ac.jp

※医学部保健学科、保健学研究科の学生への求人に関しては、上記担当へ直接ご連絡いただきますようお願いいたします。